

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成27年5月21日(2015.5.21)

【公開番号】特開2013-228531(P2013-228531A)

【公開日】平成25年11月7日(2013.11.7)

【年通号数】公開・登録公報2013-061

【出願番号】特願2012-99994(P2012-99994)

【国際特許分類】

G 09 G 3/30 (2006.01)

G 09 G 3/20 (2006.01)

H 01 L 51/50 (2006.01)

【F I】

G 09 G 3/30 K

G 09 G 3/20 6 2 4 B

G 09 G 3/20 6 1 1 H

G 09 G 3/20 6 4 2 A

G 09 G 3/20 6 4 2 J

G 09 G 3/30 J

H 05 B 33/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成27年4月3日(2015.4.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の走査線と、

複数のデータ線と、

前記複数の走査線のうち、一の走査線と、前記複数のデータのうち、第1データ線とが交差する位置に対応して設けられた第1画素回路と、

前記一の走査線と、前記複数のデータのうち、第2データ線とが交差する位置に対応して設けられた第2画素回路と、

前記第1データ線に対応した第1入力端子に供給された第1データ信号の電位振幅が第1圧縮率で圧縮されるように、当該第1データ信号の電位をシフトして前記第1データ線に供給する第1レベルシフト単位回路と、

前記第2データ線に対応した第2入力端子に供給された第2データ信号の電位振幅が前記第1圧縮率とは異なる第2圧縮率で圧縮されるように、当該第2データ信号の電位をシフトして前記第2データ線に供給する第2レベルシフト単位回路と、

を有し、

前記第1画素回路および第2画素回路の各々は、

発光素子と、

前記一の走査線が選択されたときのゲート・ソース間の電圧に応じた電流を前記発光素子に供給する駆動トランジスターと、

を含む

ことを特徴とする電気光学装置。

【請求項2】

共通端子に供給されたデータ信号を、第1期間に前記第1入力端子に前記第1データ信号として供給し、前記第1期間とは異なる第2期間に前記第2入力端子に前記第2データ信号として供給するデマルチプレクサを有し、

前記第1画素回路と第2画素回路とは、互いに異なる色に対応する、  
ことを特徴とする請求項1に記載の電気光学装置。

【請求項3】

前記第1データ信号と前記第2データ信号とは、互いに同一ビット数のデジタルデータをアナログ信号に変換したものである

ことを特徴とする請求項2に記載の電気光学装置。

【請求項4】

複数の走査線と、

複数のデータ線と、

前記複数の走査線のうち、一の走査線と、前記複数のデータのうち、第1データ線とが交差する位置に対応して設けられた第1画素回路と、

前記一の走査線と、前記複数のデータのうち、第2データ線とが交差する位置に対応して設けられた第2画素回路と、

前記第1画素回路および第2画素回路の各々は、

発光素子と、

前記一の走査線が選択されたときのゲート・ソース間の電圧に応じた電流を前記発光素子に供給する駆動トランジスターと、

を含む電気光学装置の駆動方法であって、

前記第1データ線に対応した第1入力端子に供給された第1データ信号の電位振幅が第1圧縮率で圧縮されるように、当該第1データ信号の電位をシフトして前記第1データ線に供給し、

前記第2データ線に対応した第2入力端子に供給された第2データ信号の電位振幅が前記第1圧縮率とは異なる第2圧縮率で圧縮されるように、当該第2データ信号の電位をシフトして前記第2データ線に供給する

ことを特徴とする電気光学装置の駆動方法。

【請求項5】

請求項1乃至3のいずれかに記載の電気光学装置を備える

ことを特徴とする電子機器。